

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立新庄小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東淀川区
学 校 名	大阪市立新庄小学校
学 校 長 名	井上 泰志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立新庄小学校では、第6学年 42名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立新庄小学校の結果概要

国語科、算数科いずれも平均正答率が、全国と大阪市の平均値をやや下回るもほぼ平均あたりの結果となった。

教科別に数値を見ていくと、国語科は全国を少し下回ったが、大阪市平均を1ポイント上回ることができた。算数科においては、全国、大阪市の平均ともに少し下回る結果となった。しかし、平均無回答率において、特に算数科で2.6ポイントと全国と大阪市の値より低いポイントを示しており、算数科を研究教科としていることで、児童が粘り強く取り組んでいると考えられる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】領域別にみていくと、特に「(2)情報の扱い方に関する事項」「A話すこと・聞くこと」について、全国と大阪市の平均より高い水準にすることができた。これは、日頃からICTを活用した情報の取り出しやグループでの話し合いの取り組みでの成果といえる。

【算数】領域の中で、特に「C測定」において、全国と大阪市の平均より高い水準にすることができた。他の領域は、全国と大阪市の平均よりやや低い結果となり、今後も取り組みの重点を置き、研究を進めていく必要がある。

質問調査より

児童は、自己を肯定しながら、とても落ち着いて学習に取り組んでいる。また、教職員が児童を認めながら指導していることが伺える。これは、日頃からの取り組みはもとより、家庭との連携協力があつての成果である。国語科、算数科においては、好きと回答する児童が多く、モチベーションが高く学習に取り組んでいる。また、自分自身の興味関心を高めるために、方法を示しながら、自主学習の取り組みを進めることができている。

今後の取組（アクションプラン）

引き続き、教育活動のあらゆる場において、賞賛する場を多く設定し、自己肯定感を高める取り組みをしていく。

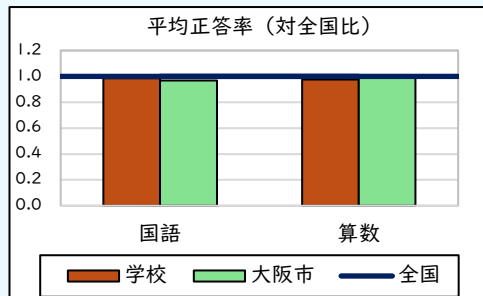
学習においては、朝学習の取り組みを続けていく。また、復習や自身の興味・関心を深化するために、自主学習にも取り組んでいく。さらに、2月の漢字検定を目標に「新庄っ子国語プリント」「漢字検定の過去問プリント」などで学習を積み重ねていく。

授業においては、研究教科を重点において取り組み、教員の授業改善を組織的に進めながら、学力向上は図るようにしていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

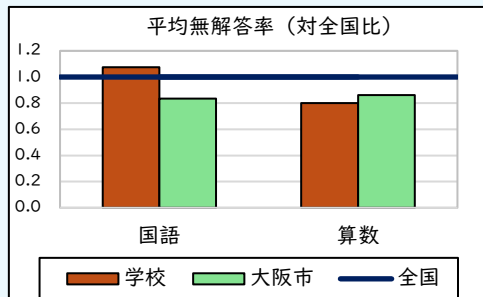
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	60	55
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



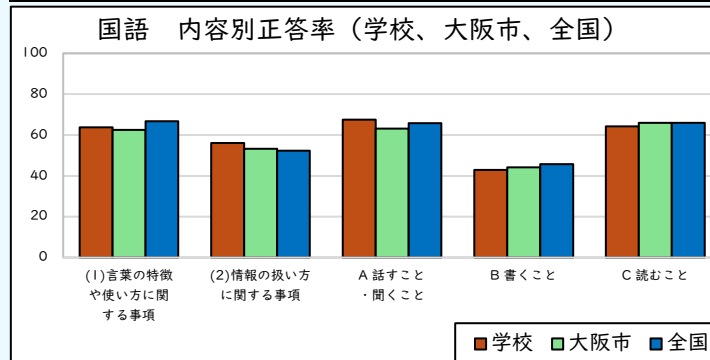
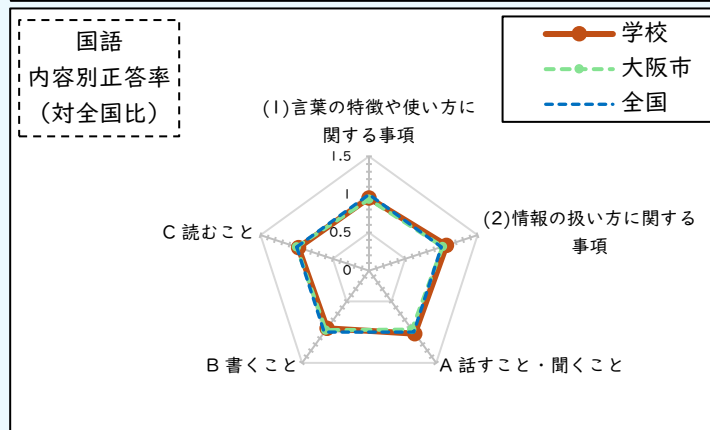
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.7	2.6
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



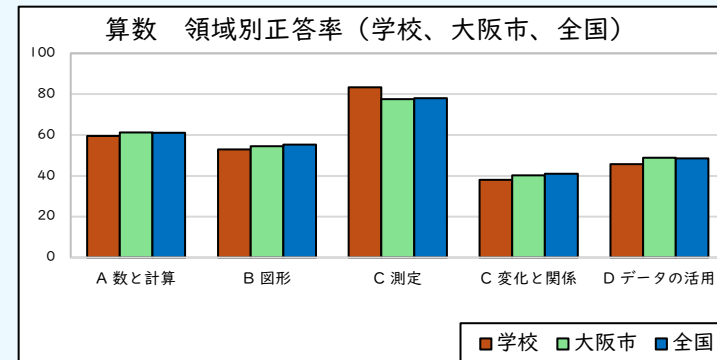
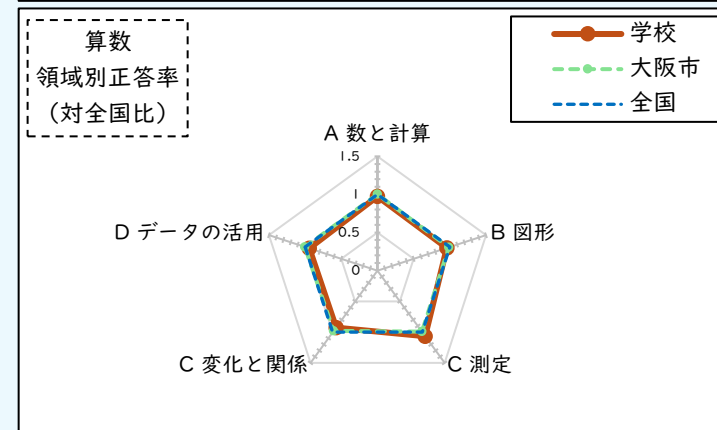
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	63.7	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	56.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	67.5	63.1	65.8
B 書くこと	2	42.9	44.2	45.7
C 読むこと	2	64.3	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	59.5	61.2	61.1
B 図形	4	53.0	54.5	55.3
C 測定	1	83.3	77.5	78.1
C 変化と関係	3	38.1	40.3	41.1
D データの活用	4	45.8	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

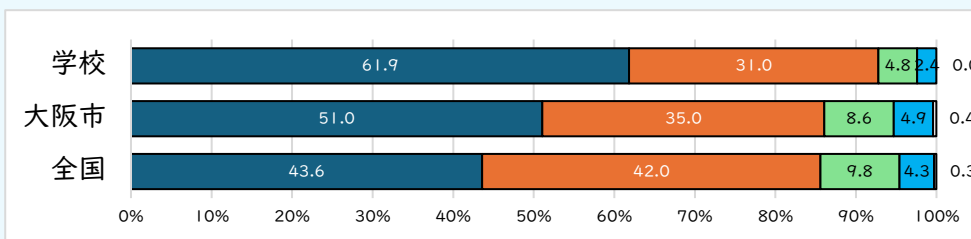
1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

質問事項

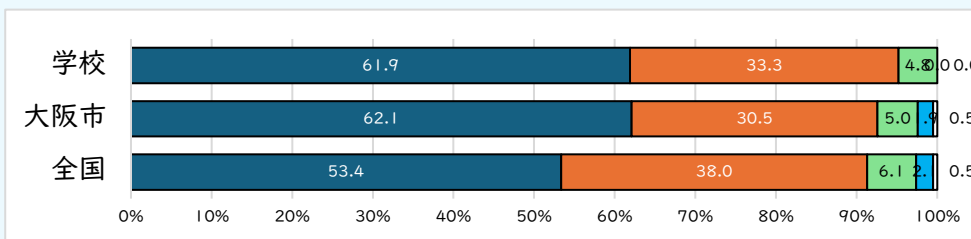
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



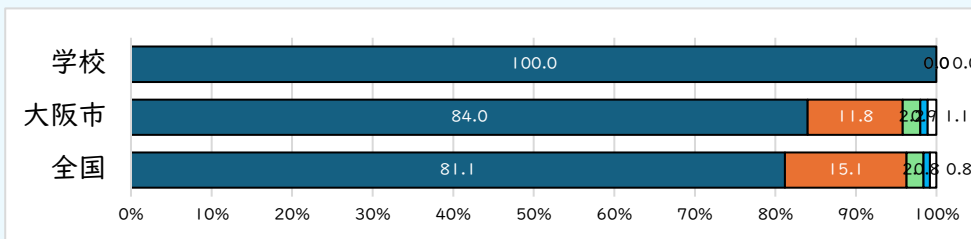
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



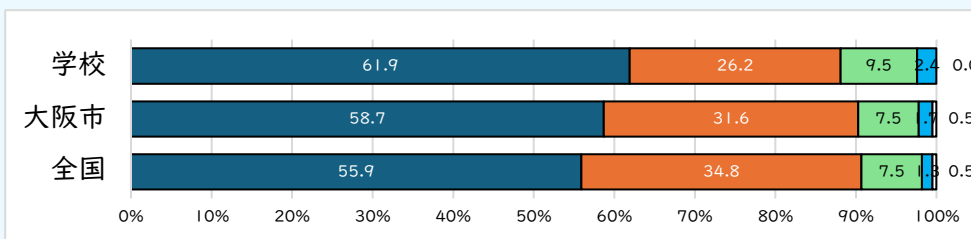
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



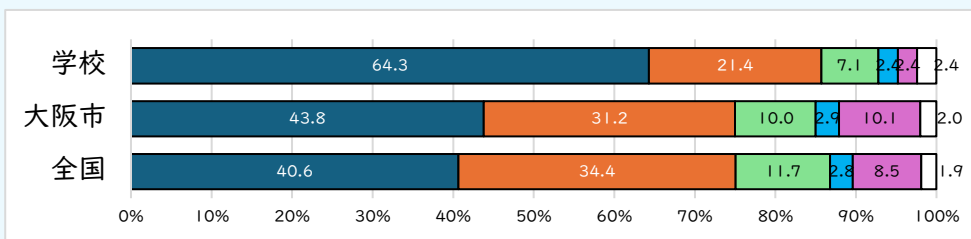
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(6) 学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか



- 1 ほぼ毎日
- 2 週に1～2回
- 3 月に1～2回
- 4 年に1～2回
- 5 ほとんど、または、全くない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

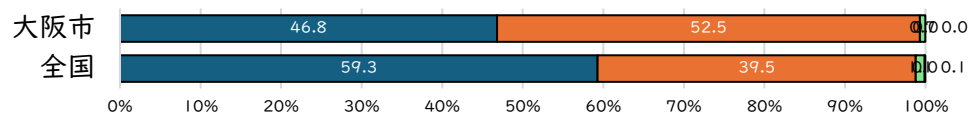
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

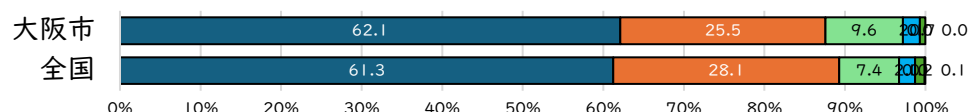


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(15)

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

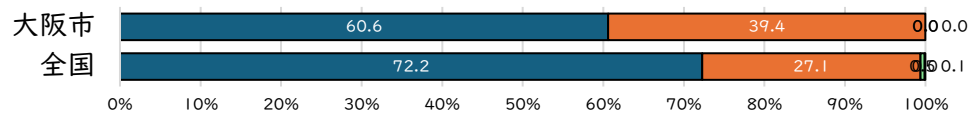


1 週に1回程度、または、それ以上行った
2 月に数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年に数回程度行った
5 行わなかった
6 特に問題を抱えていなかった

(21)

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

【学校の回答】 1 そう思う

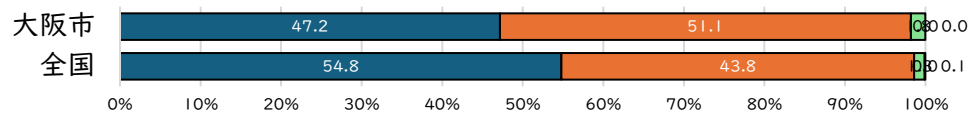


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(69)

ICT機器やインターネットの活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、活用に当たってのルールやマナー（長時間利用防止や情報の取扱いも含む）に関する指導を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

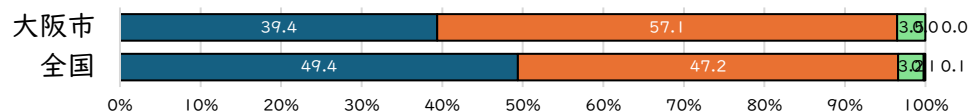


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(81)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

【学校の回答】 1 よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった